

第35回（10-12月期）

川口商工会議所リアルタイム景況調査

2024年2月 川口商工会議所

調査概要・回答者属性

調査概要

- 調査期間 : 2024 (令和6) 年1月15日 (月) ~1月31日 (水)
 調査対象 : 会員事業所1,832件 (FAX1,274件、メール500件、郵送359件、重複301件)
 回答数 : 276件 (回答率15.1%)
 調査方法 : FAX・メール・郵送による送付、FAX・Web (Googleフォーム) による回答
 分析方法 : 売上、採算、従業員、業況などについて、「増加」(好転など)と答えた企業から「減少」(悪化など)と答えた企業割合を差し引いたDI値を中心に分析 (DI:Diffusion Index)

回答者属性

問1 (1)業種 (2)業歴 (3)資本金 (4)従業員

業種	実数	割合
製造業	88	31.9%
建設業	37	13.4%
卸売・小売業	33	12.0%
飲食業	60	21.7%
サービス業	40	14.5%
その他の業種	18	6.5%
総計	276	100%

従業員数	実数	割合
0~5人	146	52.9%
6~20人	77	27.9%
21~50人	33	12.0%
51~100人	9	3.3%
101~300人	6	2.2%
301人以上	4	1.4%
未回答	1	0.3%
総計	276	100%

業歴	実数	割合
5年未満	10	3.6%
5~10年	18	6.5%
11~20年	43	15.6%
21~30年	25	9.1%
31~40年	32	11.6%
41~50年	46	16.7%
51~60年	50	18.1%
61~70年	14	5.1%
71~80年	16	5.8%
81~90年	8	2.9%
91~100年	4	1.4%
101年以上	10	3.6%
総計	276	100%

資本金	実数	割合
個人事業主	58	21.0%
500万円以下	65	23.6%
500万円超~1千万円以下	75	27.2%
1千万円超~3千万円以下	45	16.3%
3千万円超~5千万円以下	15	5.4%
5千万円超~1億円以下	12	4.3%
1億円超	4	1.5%
その他・未回答	2	0.7%
総計	276	100%

調査結果概要

<業種DI（全体の状況）>

- ・ 製造業は、今期・先行きともに、売上高の減少にともない厳しい見通しである。
- ・ 建設業は、今期は好転するも、先行きは採算の悪化等の影響から悪化に転じる見通しである。
- ・ 卸売・小売業は、今期は業況が不変(現状維持)となるも、先行きは悪化傾向が強まる見通しである。
- ・ 飲食業は、今期は売上高の増加等にともない改善したが、先行きは悪化に転じる見通しである。
- ・ サービス業は、今期・先行きともに、厳しい状況は続くものの、改善の兆しがみられる。

<コロナによる経営への影響>

- ・ 「悪化の影響が続いている」「今後悪化の影響が見込まれる」の合計は20.6%で、前期より2.9%減少した。
- ・ 業種別の回答では、製造業とサービス業は増加（他業種は減少）しており、注視が必要である。

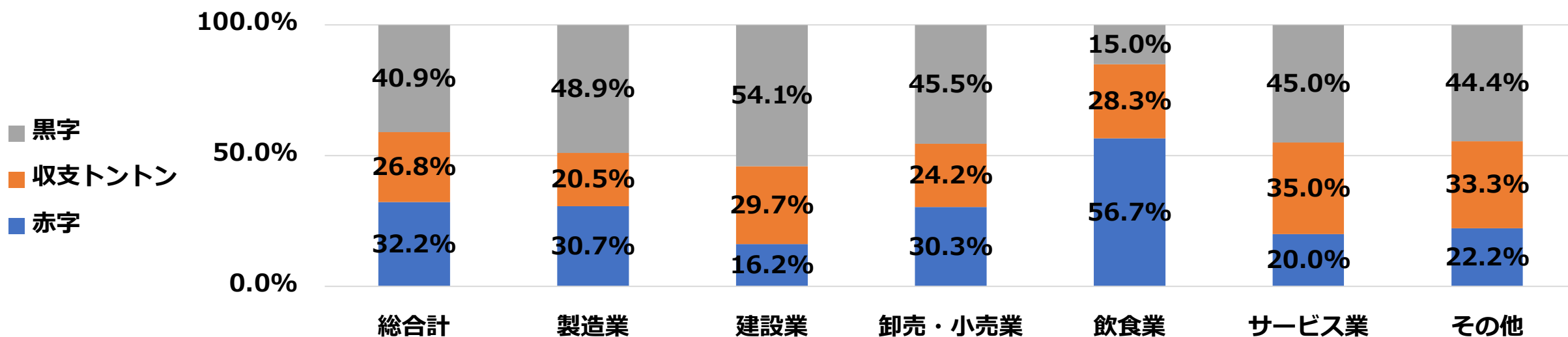
<従業員へ実施している研修・教育訓練>

- ・ 「研修・教育訓練を実施している」が全体の74.7%を占める。内容は「日常業務での教育(OJT)」や「資格の取得推奨」が多いが、「外部研修・セミナーの受講」「社内での集合研修」といったOff-JTの利用も広がりを見せる。
- ・ 課題は、「時間的余裕がない」「担当する人材の不足」が多く、余力不足・力量不足を感じる回答が上位を占める。

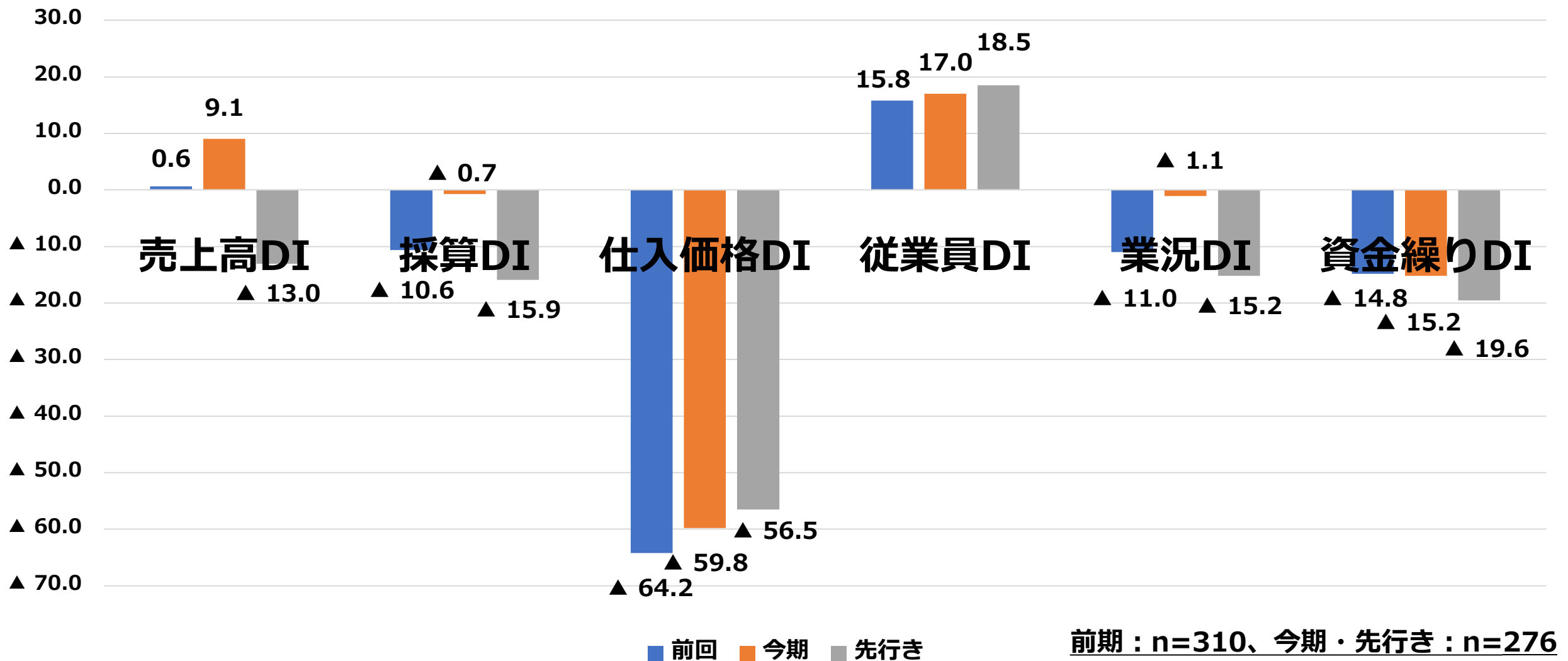
<年度末に向けた資金繰りの状況>

- ・ 資金繰りに課題があるとの回答をしている事業者は全体の33.3%を占める。
- ・ 資金繰りに不安を抱えながらも適切な相談先を見つけられていない事業者が多くを占める状況となっている。

問1（5）：収益状況（直近の決算）



問2：景況感について【全業種DI】（前期(7-9月)-今期(10-12月)-先行き(1-3月)）



考察

- ・売上高は、今期は全業種で増加しているが、先行きは全業種で減少に転じる見込みである。
- ・採算は、今期は好転傾向にあるが、先行きは売上高の減少に伴い全業種で悪化の見通しである。
- ・仕入価格は、今期・先行きともに、全業種で厳しい状況が続くものの、やや持ち直しの傾向がみられる。
- ・従業員は、今期・先行きともに、人手不足感が強く、人手不足はさらに進行する見通しである。
- ・業況は、今期は好転傾向にあるが、先行きは厳しい状況となる見通しである。
- ・資金繰りは、今期・先行きともに、厳しい業況やゼロゼロ融資の返済開始を受け、悪化が続く見通しである。

問2：景況感について【業種別】（前期(7-9月)-今期(10-12月)-先行き(1-3月)）



製造業

（今期）業況は悪化している。売上高は価格転嫁が追い付かず増加の勢いが鈍っており、仕入価格は上昇傾向が継続しているため、採算の悪化につながっている。人手不足感も根強い。
（先行き）業況は悪化が進行する見通し。売上高は国内・海外経済の停滞懸念等で減少が予想され採算の悪化につながっている。能登半島地震によるサプライチェーン停滞の影響も懸念される。



建設業

（今期）業況は好転している。売上高は公共工事が堅調なこともあり順調で、仕入価格は高止まりするも下落の兆しが見えるため、採算は好調を維持する。一方で人手不足は深刻な状況が続く。
（先行き）業況は悪化に転じる見通し。売上高は手元案件の減少等から減少に転じ、仕入価格が高止まりするため、採算の悪化につながっている。人手不足はさらに進行することが見込まれる。



卸売・小売業

（今期）業況は不変(現状維持)の見通し。売上高は個人消費の回復等で大きく増加するも、仕入価格は円安の影響等で高止まりしており、採算は好転するも好転幅はわずかにとどまる。
（先行き）業況は悪化に転じる見通し。売上高は買い控えの懸念等から減少し、採算の悪化につながっている。また従業員はこれまで比較的順調だったが、今後人手不足の進行が見込まれる。



飲食業

（今期）業況は好転している。売上高は忘年会需要等で一時的に増加したことから、仕入価格が厳しいものの、採算は不変(現状維持)にまで持ち直している。
（先行き）業況は悪化に転じる見通し。売上高はコロナ禍後の客数が戻っていないこと等から再び減少し、採算の悪化につながっている。人手不足はさらに進行することが見込まれる。

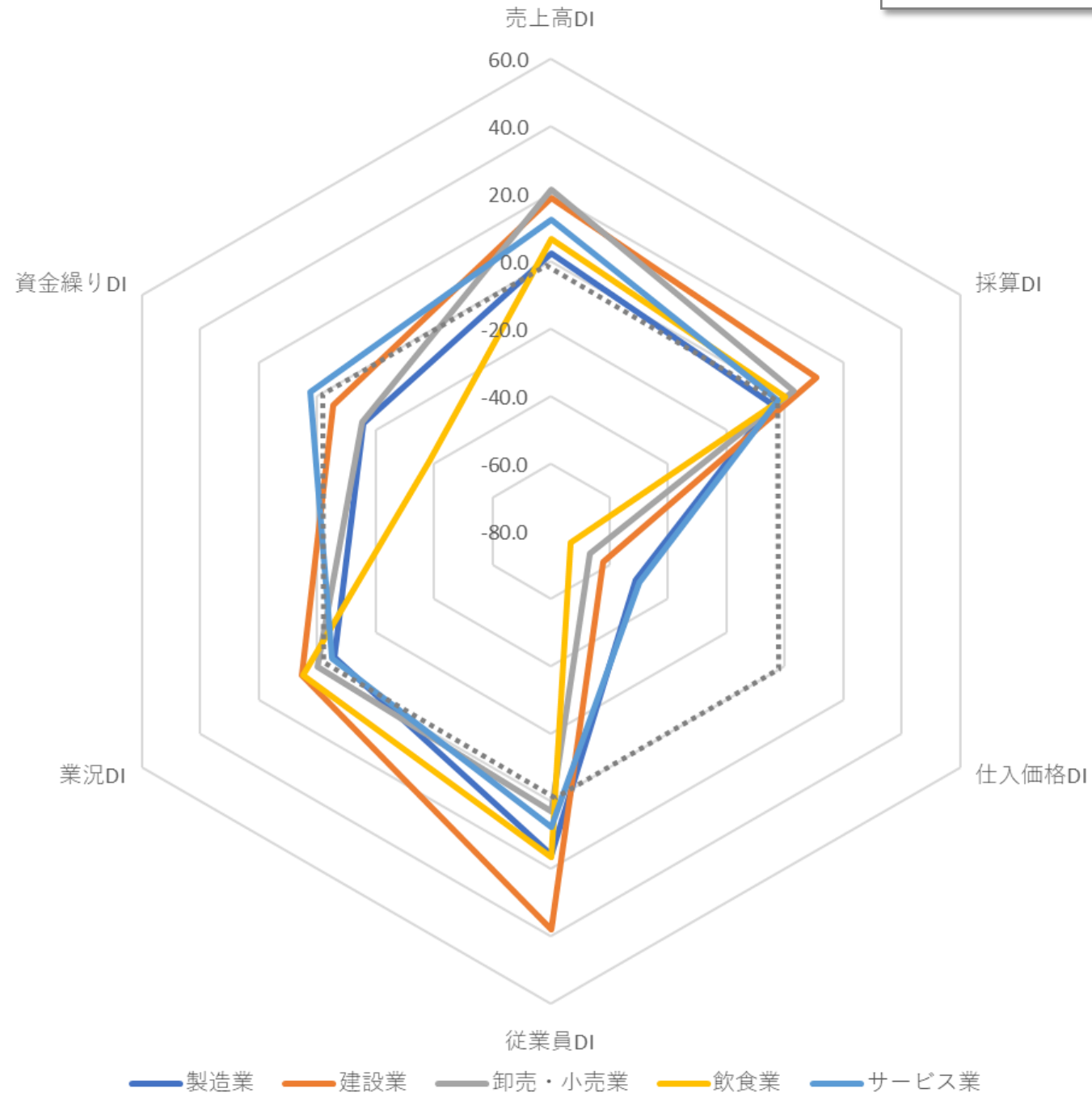


サービス業

（今期）業況は悪化している。売上高はインバウンド需要の回復等で増加するも、仕入価格が高止まりしていることから、採算はやや持ち直しがみられ小幅の悪化となった。
（先行き）業況は小幅ながら悪化が続く見通し。売上高は買い控えの懸念等からわずかな悪化に転じ、仕入価格は上昇傾向が強まることから、採算の悪化につながっている。

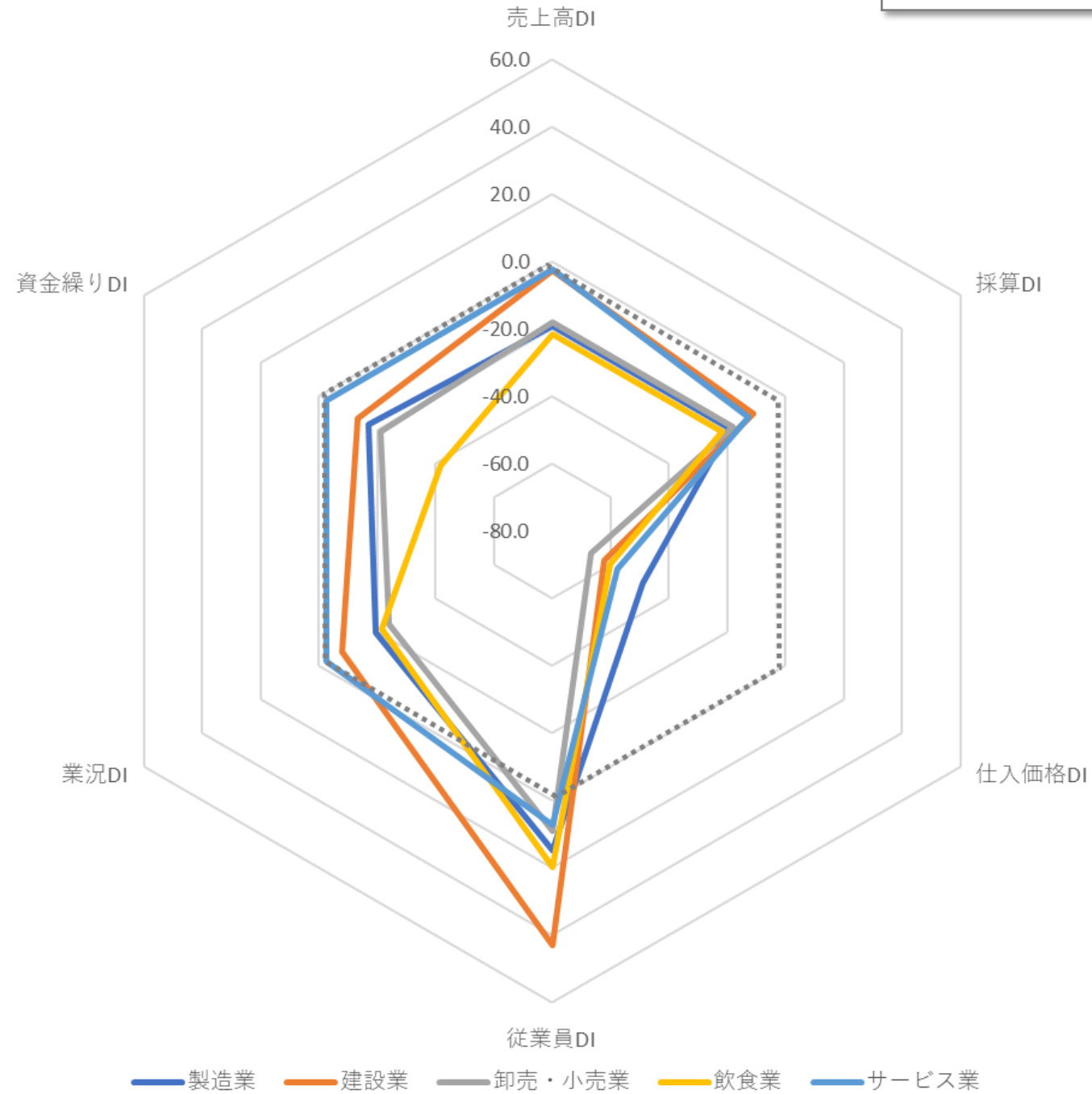
今期

ゼロ(破線)を基準として、プラスの値(破線の外側)で上向き傾向を表す回答の割合が多いことを、マイナスの値(破線の内側)で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
※「従業員DI」のみ逆で、プラスの値で下向き傾向(不足)を、マイナスの値で上向き傾向(過剰)を示す。

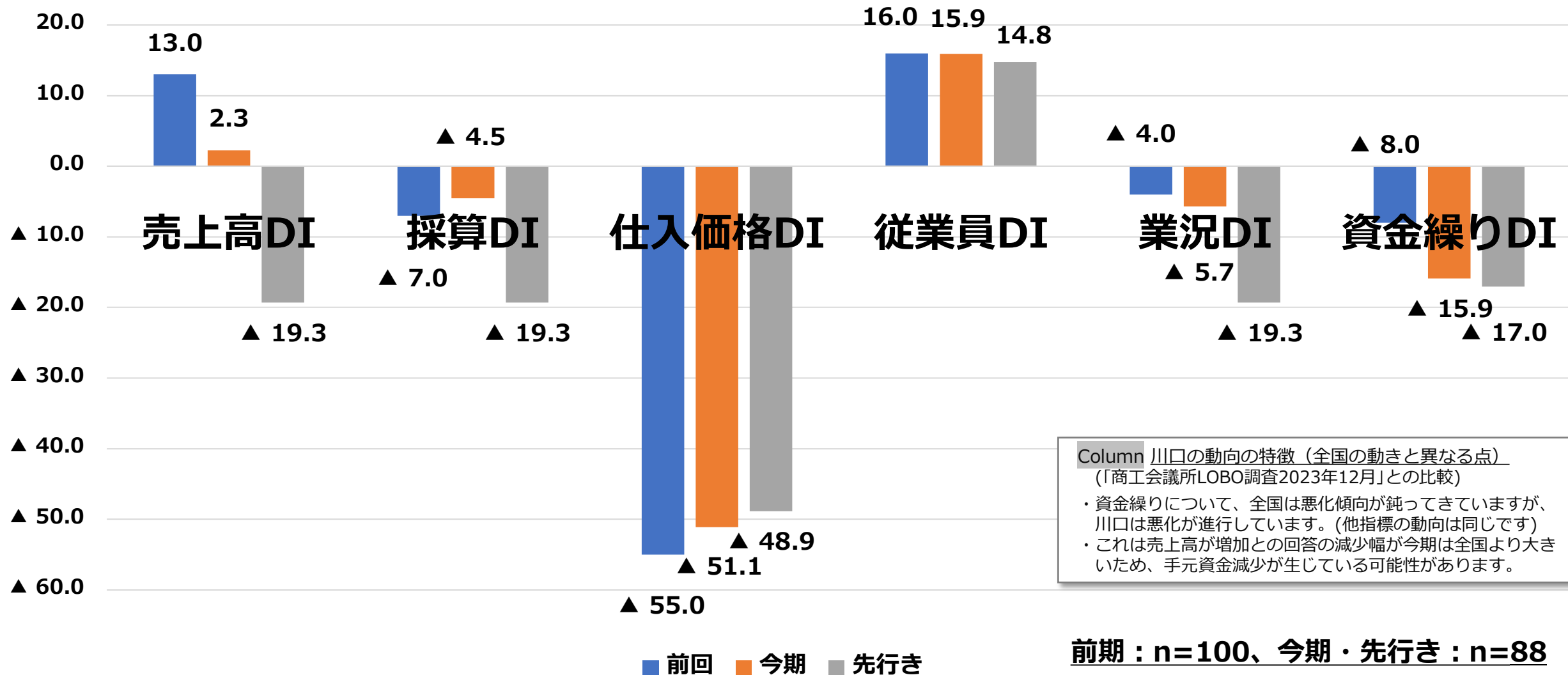


先行き

ゼロ(破線)を基準として、プラスの値(破線の外側)で上向き傾向を表す回答の割合が多いことを、マイナスの値(破線の内側)で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
※「従業員DI」のみ逆で、プラスの値で下向き傾向(不足)を、マイナスの値で上向き傾向(過剰)を示す。



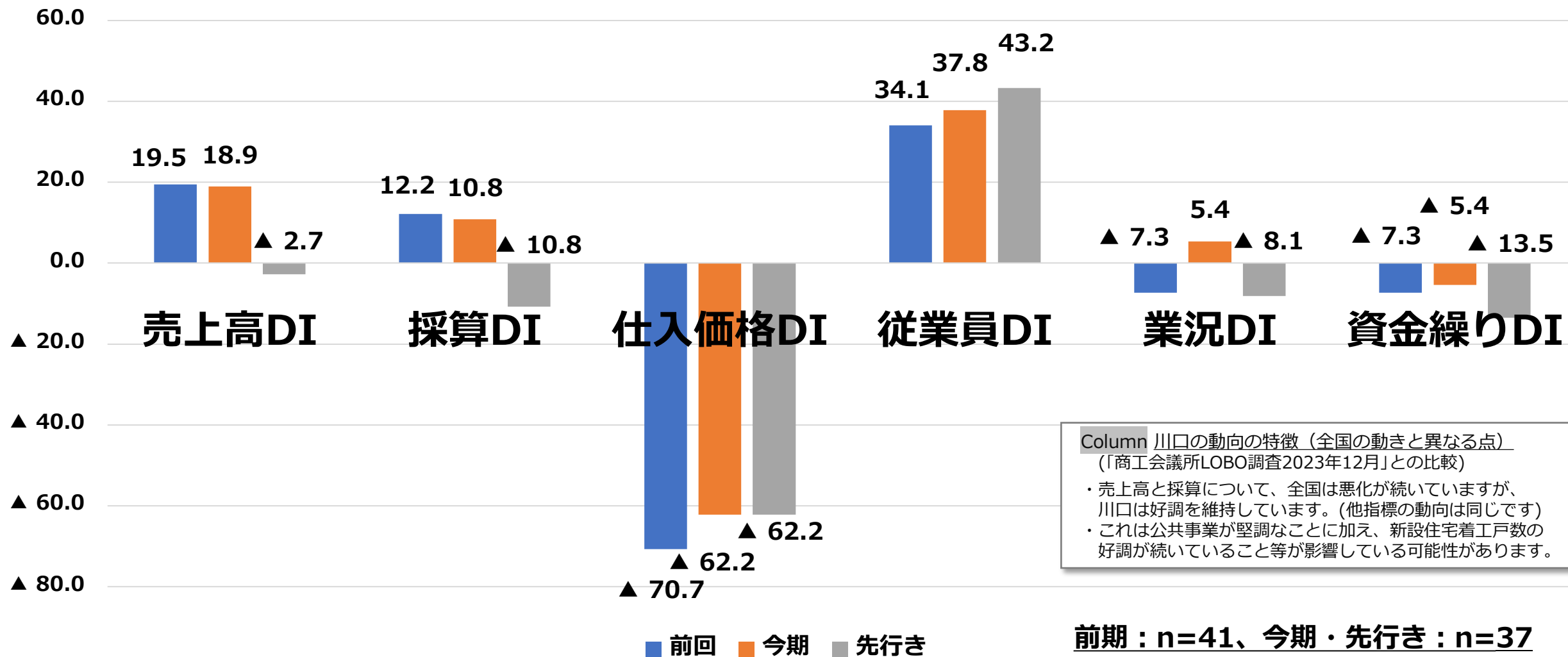
問2：景況感について【製造業DI】（前期(7-9月)-今期(10-12月)-先行き(1-3月)）



考察

- ・売上高は、今期は価格転嫁が追い付かず増加の勢いが鈍っており、先行きは減少に転じる見通しである。
- ・採算は、今期は悪化傾向が鈍るが、先行きは売上高の減少にともない悪化傾向が強まる見通しである。
- ・仕入価格は、今期・先行きともに、輸入部材高騰などが負担となり上昇傾向は続くも、改善の方向にある。
- ・従業員は、今期・先行きともに、人手不足感は根強いが少しずつ落ち着きつつある。
- ・業況は、今期・先行きともに、売上高の減少にともない厳しい見通しである。
- ・資金繰りは、今期・先行きともに、厳しい状況が続く見通しである。

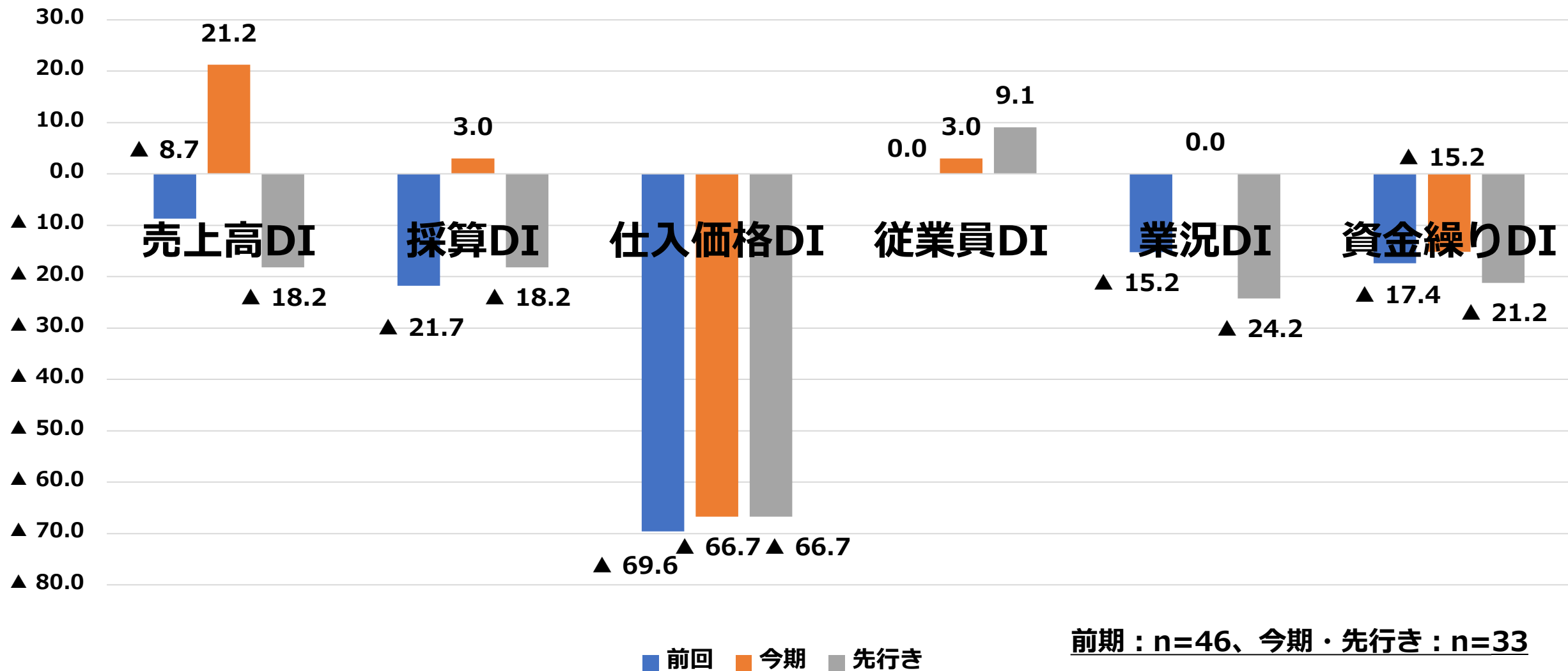
問2：景況感について【建設業DI】（前期(7-9月)-今期(10-12月)-先行き(1-3月)）



考察

- ・売上高は、今期は公共工事が堅調で好調を維持するも、先行きは手元案件の減少等から減少の見通しである。
- ・採算は、今期は好調を継続するも、先行きは売上高減少や外注費高騰等の影響を受けて悪化の見通しである。
- ・仕入価格は、今期・先行きともに、上昇傾向は続くも、やや改善傾向がみられる。
- ・従業員は、今期・先行きともに、厳しい人手不足が継続しており、全業種中トップの人手不足感が続いている。
- ・業況は、今期は好転するも、先行きは採算の悪化等の影響から悪化に転じる見通しである。
- ・資金繰りは、今期は悪化傾向がわずかに改善するも、先行きは再び悪化傾向が強まる見通しである。

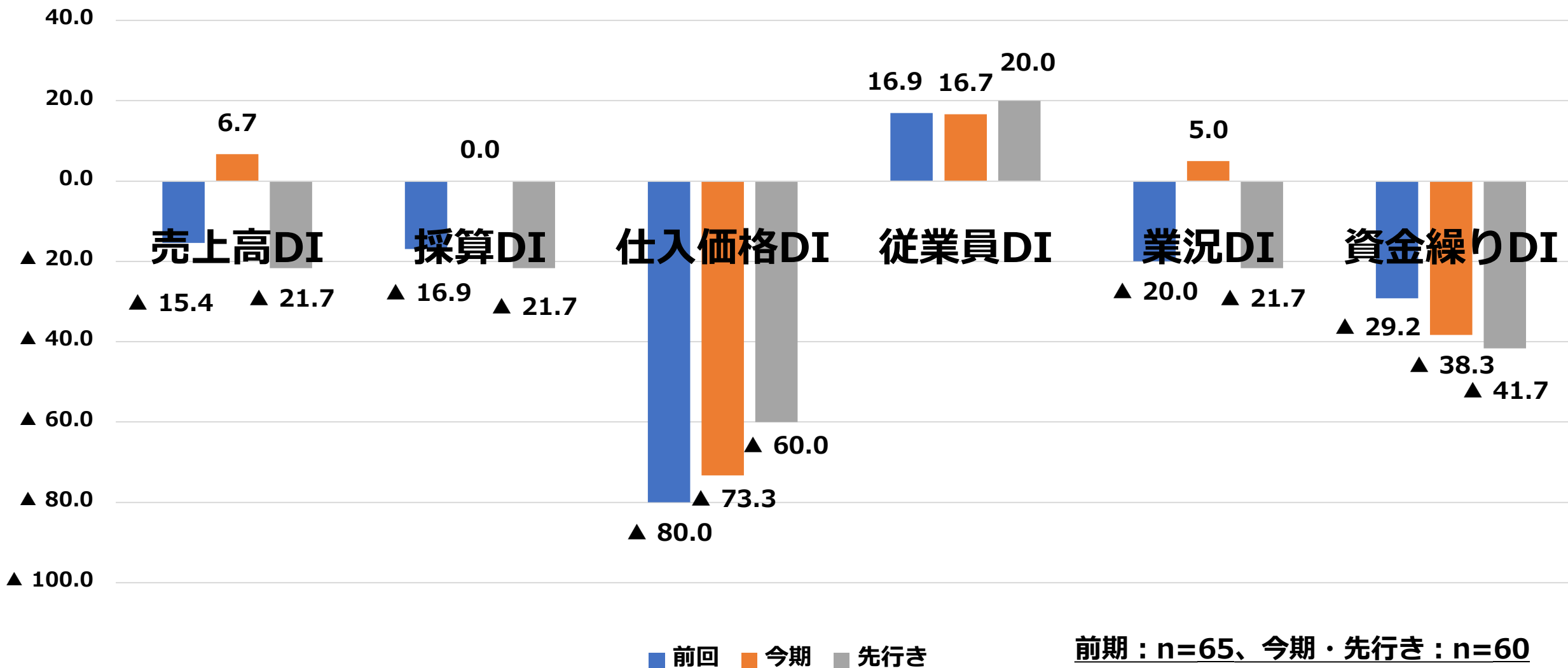
問2：景況感について【卸売・小売業DI】（前期(7-9月)-今期(10-12月)-先行き(1-3月)）



考察

- ・売上高は、今期は増加するが、先行きは円安や価格高騰に伴う買い控えの懸念等から減少の見通しである。
- ・採算は、今期は売上高の増加に伴い改善するが、先行きは売上高の減少に伴い悪化する見通しである。
- ・仕入価格は、今期・先行きともに、円安の影響等で仕入価格が高止まりし、厳しい状況が続く見通しである。
- ・従業員は、今期・先行きともに、人手不足が進行する見込みである。
- ・業況は、今期は不変(現状維持)となるも、先行きは売上高の減少等にもない悪化傾向が強まる見通しである。
- ・資金繰りは、今期は悪化傾向がわずかに改善するも、先行きは再び悪化傾向が強まる見通しである。

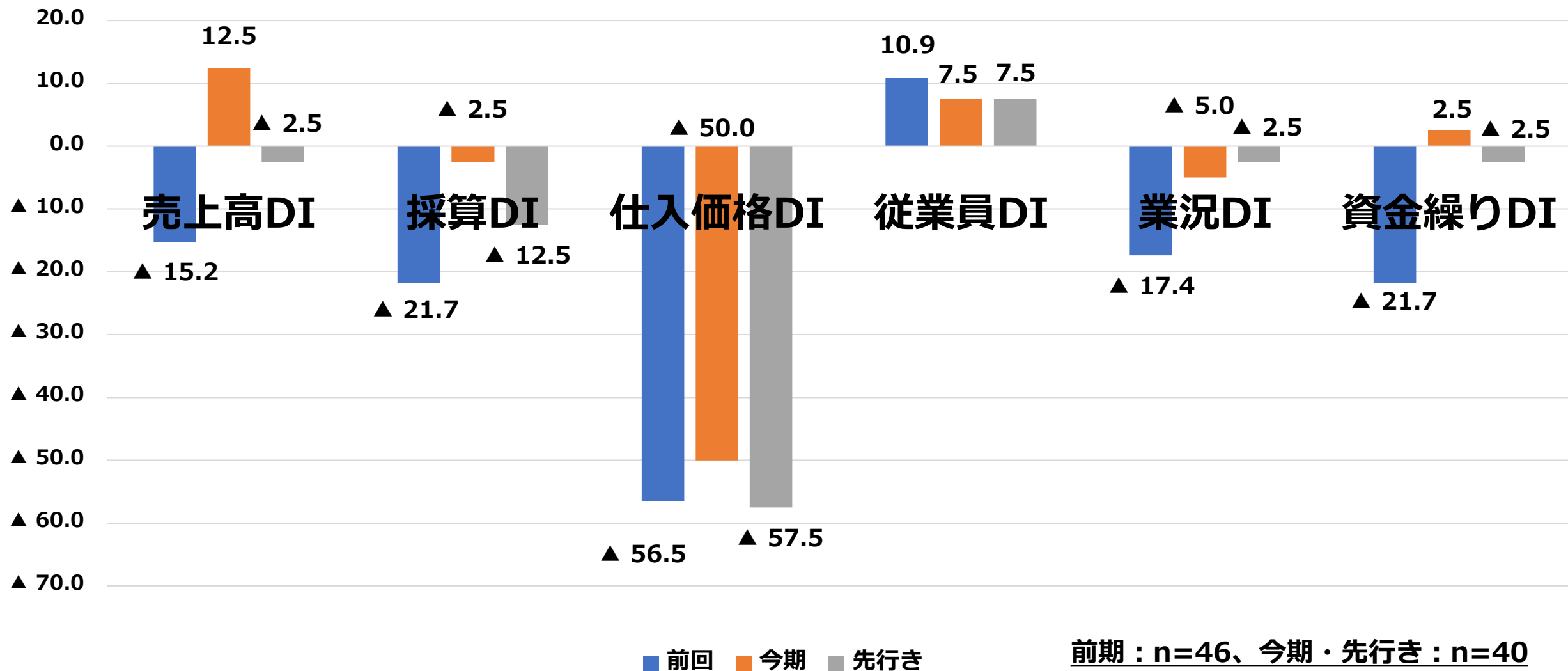
問2：景況感について【飲食業DI】（前期(7-9月)-今期(10-12月)-先行き(1-3月)）



考察

- ・売上高は、今期は忘年会需要などで一時的に増加したが、先行きは引き続き厳しい見通しである。
- ・採算は、今期は不変(現状維持)となったが、先行きは売上高の減少に伴い悪化する見通しである。
- ・仕入価格は、今期・先行きともに、悪化傾向が続くも、仕入先や食材変更の検討等で明るい兆しも見える。
- ・従業員は、今期は人手不足感が根強く、先行きはさらに人手不足感が進行する見込みである。
- ・業況は、今期は売上高の増加等にもとめない改善したが、先行きは悪化に転じる見通しである。
- ・資金繰りは、今期・先行きともに、赤字決算との回答が過半を占める中、不安が払しょくできず悪化している。

問2：景況感について【サービス業DI】（前期(7-9月)-今期(10-12月)-先行き(1-3月)）



考察

- ・売上高は、今期は円安に伴うインバウンド需要の回復等で増加するも、先行きは減少に転じる見込みである。
- ・採算は、今期は悪化傾向が鈍るも、先行きは売上高の減少にともない悪化に転じる見通しである。
- ・仕入価格は、今期はやや悪化傾向が鈍るものの、先行きは再び悪化傾向が強まる見通しである。
- ・従業員は、今期・先行きともに、人手不足感が残るものの、やや改善される見込みである。
- ・業況は、今期・先行きともに、厳しい状況は続くものの、改善の兆しがみられる。
- ・資金繰りは、今期は売上高の増加を踏まえて改善したが、先行きは厳しい見通しである。

問3-1：コロナによる経営への影響

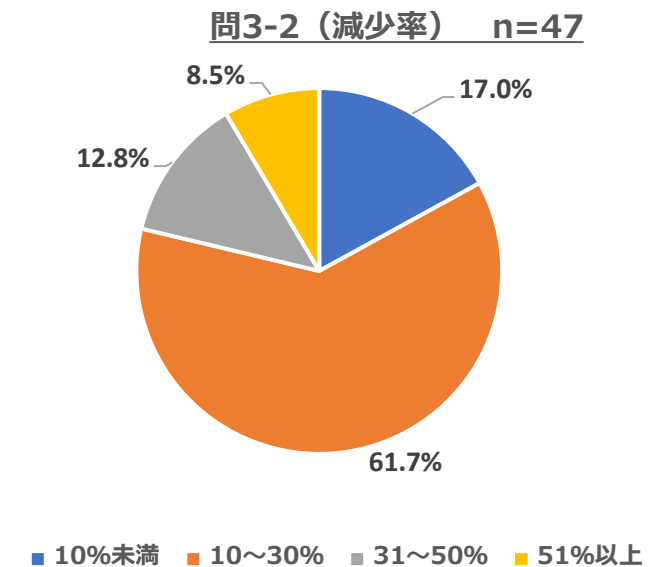
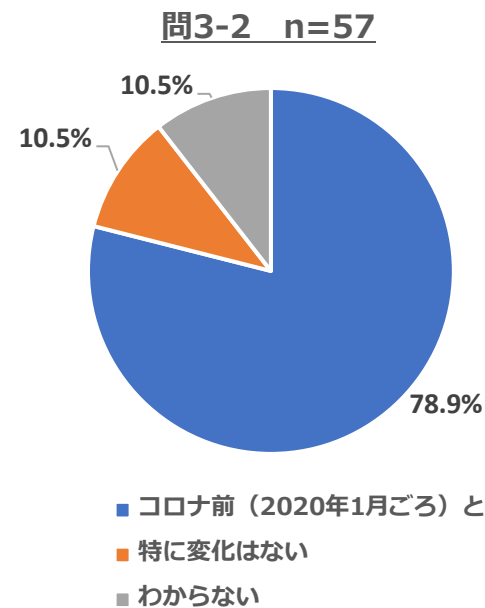
(*) 今後とは、おおむね3か月以内を指します。

	今期全体 n=276	製造業 n=88	建設業 n=37	卸売・小売業 n=33	飲食業 n=60	サービス業 n=40	その他 n=18	前期全体 n=310
1：悪化の影響が続いている	18.1%	20.5%	0.0%	12.1%	30.0%	17.5%	16.7%	20.0%
2：今後（*）、悪化の影響が見込まれる	2.5%	1.1%	8.1%	0.0%	1.7%	5.0%	0.0%	3.5%
3：既に改善の影響がある	15.2%	20.5%	2.7%	15.2%	15.0%	17.5%	11.1%	15.5%
4：今後、改善の影響が見込まれる	14.9%	13.6%	24.3%	12.1%	16.7%	2.5%	27.8%	13.5%
5：特に影響はない	37.7%	33.0%	54.1%	51.5%	18.3%	50.0%	38.9%	36.5%
6：わからない	11.6%	11.4%	10.8%	9.1%	18.3%	7.5%	5.6%	11.0%

業種別は、最も割合の高い項目を色付け

問3-2：売上高の減少

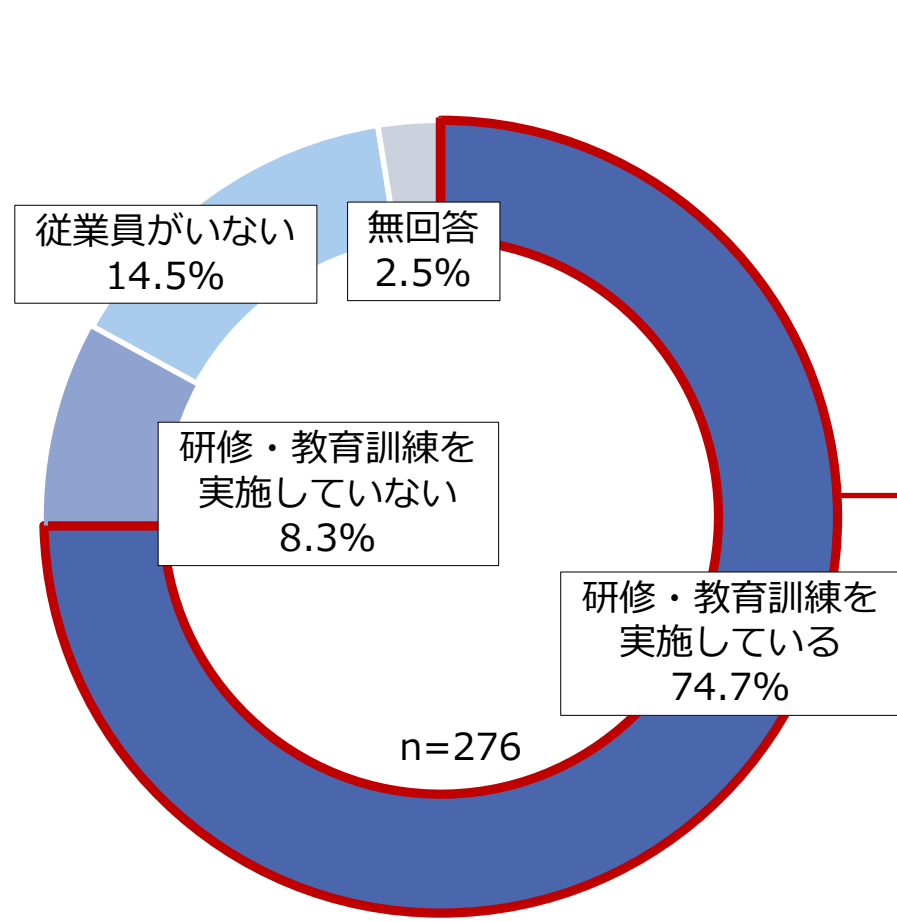
問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。



考察

- 問3-1は、全体で「1：悪化の影響が続いている」「2：今後、悪化の影響が見込まれる」の合計は20.6%となり、前期の23.5%から2.9%減少した。全体ではコロナによる経営への悪影響は希薄化しつつあるとの認識が広がる。業種別の回答は、**製造業(18.0→21.6%)**、**サービス業(15.2→22.5%)**のみ増加しており、注視が必要である。
- 問3-2は、左のグラフの通り、コロナ前と比較して売上高が「減少している」との回答は78.9%に上る。また右のグラフの通り、売上高の減少率が31%以上との回答の割合は、21.3%（12.8+8.5%）となった。

問4：従業員へ実施している研修・教育訓練



	全業種 (206)	製造業 (77)	建設業 (32)	卸売・小 売業(23)	飲食業 (31)	サービス 業(30)	その他 (13)
日常業務での教育 (OJT)	38.8%	39.3%	31.3%	46.3%	60.4%	30.8%	28.2%
資格の取得奨励	20.7%	16.7%	37.5%	19.5%	8.3%	23.1%	23.1%
外部研修・セミナーの受講	17.2%	20.2%	12.5%	17.1%	8.3%	21.5%	15.4%
社内での集合研修	11.1%	11.3%	6.3%	12.2%	12.5%	12.3%	12.8%
従業員の自己啓発支援	9.6%	8.3%	9.4%	4.9%	10.4%	10.8%	17.9%
公共職業訓練の受講	2.6%	4.2%	3.1%	0.0%	0.0%	1.5%	2.6%

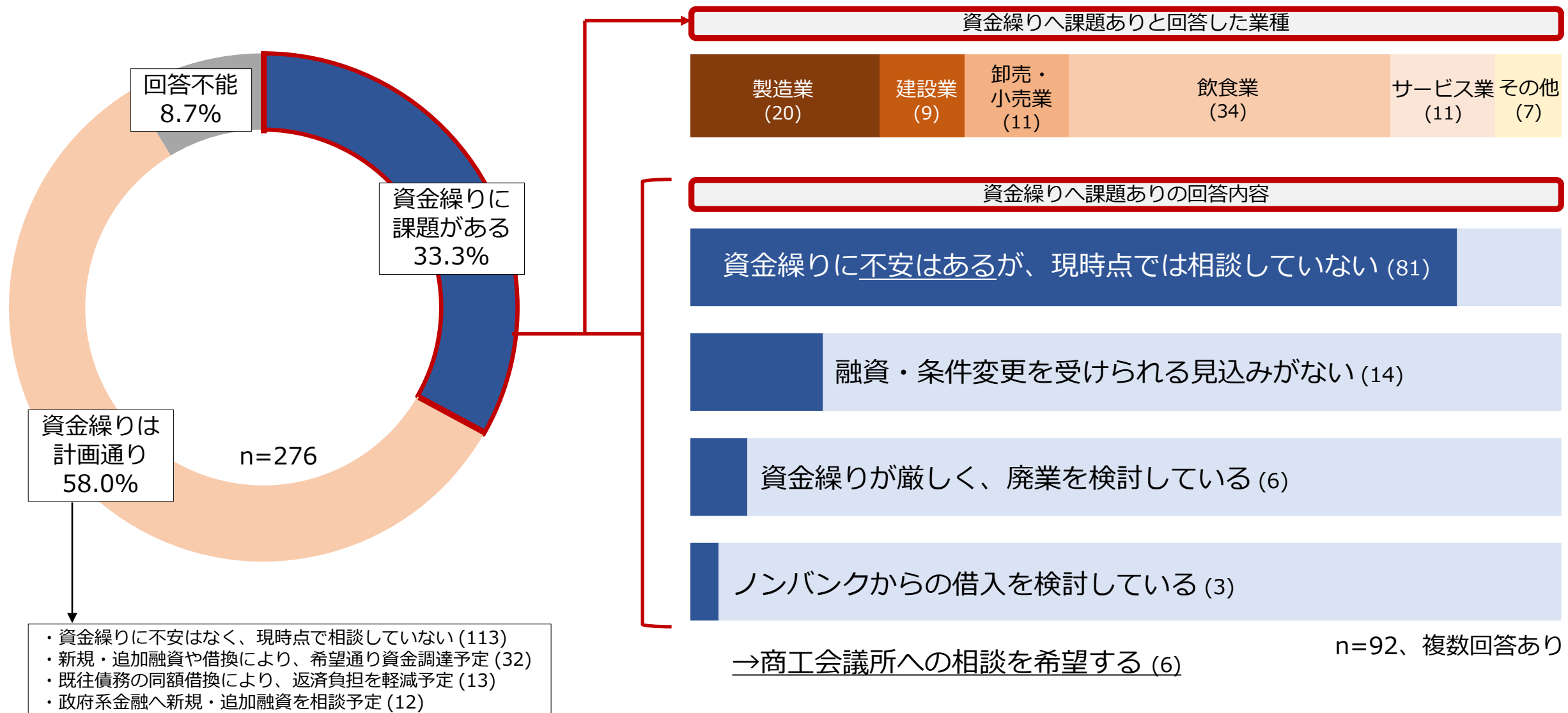
	全業種 (206)	製造業 (77)	建設業 (32)	卸売・小 売業(23)	飲食業 (31)	サービス 業(30)	その他 (13)
時間的余裕がない	20.5%	17.2%	22.4%	31.0%	17.1%	23.8%	20.8%
担当する人材の不足	14.0%	15.6%	18.4%	10.3%	9.8%	14.3%	8.3%
対象社員の意識が低い	12.7%	13.1%	12.2%	6.9%	12.2%	16.7%	12.5%
方針がなく体系的でない	10.4%	11.5%	6.1%	6.9%	14.6%	11.9%	8.3%
育成能力・意識の不足	8.8%	10.7%	8.2%	6.9%	2.4%	9.5%	12.5%
教育訓練の資金不足	7.8%	9.8%	4.1%	6.9%	7.3%	4.8%	12.5%
効果が感じられない	5.2%	4.9%	6.1%	10.3%	4.9%	4.8%	0.0%
特に課題はない	19.2%	16.4%	22.4%	17.2%	31.7%	9.5%	25.0%
その他	1.3%	0.8%	0.0%	3.4%	0.0%	4.8%	0.0%

考察

・「研修・教育訓練を実施している」と回答した事業者は全体の74.7%を占めており、具体的な内容は「日常業務での教育(OJT)」(38.8%)、「資格の取得推奨」(20.7%)が上位を占めている。一方で「外部研修・セミナーの受講」や「社内での集合研修」といったOff-JT (職場や通常業務から離れ特別に時間や場所を確保して行う教育・学習)もその次に多く、これまで大企業で実施されることが多かった育成型態であるOff-JTが、サービス業や製造業を皮切りに中小企業・小規模事業者へ広がってきていることが読み取れる。

・研修・教育訓練の実施に際しての課題は、「時間的余裕がない」(20.5%)、「担当する人材の不足」(14.0%)といった、研修等を行う側の余力不足・力量不足を感じている回答が上位を占めている。こうしたことから、短時間で効果を上げることができる教育カリキュラムの提供が、支援機関に期待される。

問5：年度末に向けた資金繰りの状況



問6：経営状況に関する具体的な声（主要なものを抜粋）



製造業

●価格転嫁が進まず、春の賃上げをどうするか悩んでいる ●価格転嫁が追い付かず、上げ過ぎると顧客離れが起き、悩ましい ●円安の継続で原材料が高騰しており、コロナ前の190%になっている材料もある ●工場内のバリアフリー等の環境改善で雇用の幅を広げ、人材を確保したい ●大企業ではいまだに従来通りの安価な価格を提示し、受けないと仕事がもらえないところがある



建設業

●原材料高騰は落ち着いてきたが、人手不足のため人件費負担が増えている ●今は業績好調で賃上げできるが、業績悪化時は下げられないので今から不安 ●深刻な人手不足の中、ヘッドハンティング会社による過度な広告が目につき、負担になっている ●人材獲得がますます重要になっており、人材獲得に力を入れて経営規模を拡大したい ●低入札案件が多く、利益が減少している



卸売・小売業

●円安によって業績が悪化している ●買い控えによって売上が減少する一方で、原価高騰で仕入高が上がっており、ここにきての賃上げはダメージが大きい ●仕入価格の高騰により利益は減少しているが、不足分は個人の預金でやりくりしているので、何とか資金繰りができている状況 ●賃上げしたいところだが、利益が出ていないため厳しい



飲食業

●値上げの理解を求めるため張り紙をしたり、類似商品への移行を促すなど模索している ●安価な材料を見つけてメニューを再構築している ●飲食店の値上げへの理解が得られない ●コロナ後もお客様の数は戻っていない。消費者マインドが変わった気がする ●原材料や光熱費の高騰、賃上げが利益を圧迫しているが、値上げは躊躇している ●客数を増やさざるを得ず、疲弊している



サービス業

●仕入れ価格の上昇が止まらない ●不景気が続いているにもかかわらず家賃だけが上昇しており厳しい ●工賃を値上げすることで、賃上げを実施する予定

問7：行政や商工会議所へ望むこと

昨年未から子育て支援金や給付金に関するニュースが多いことも影響し、**補助金・助成金を含めた費用補助に関する要望**が多い。これと**人材確保の支援に関する要望**が多くを占め、関心の高さがうかがわれる。

カテゴリー		会員の声（一部抜粋）
商 工 会 議 所 へ の 要 望	補助金・支援金等	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助金、助成金の情報を積極的に発信してほしい（飲食業2件、製造業、建設業） ● 給付金について相談を希望しています（飲食業） ● いまだにコロナの影響があるので補助金をお願いしたい（サービス業） ● 支援金の種類を増やしてほしい。初心者にも分かりやすい説明を希望（建設業） ● 資金、補助金について相談したい（飲食業） ● 申請が容易な助成金や補助金を増やしてほしい（製造業）
	人材確保の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● IT関係の情報提供、人手不足対策への対応策（サービス業） ● 人材確保の方法を知りたい（製造業） ● ビジネスマッチングと人材紹介（建設業） ● 良い人材を紹介してほしい（製造業） ● 人が集まらないことや社員の高齢化について相談したい（製造業）
	研修・イベント開催	<ul style="list-style-type: none"> ● アルコールチェックやテールゲートリフトの講習、2024年問題の情報提供（サービス業） ● 多くの企業と合同のリスキングの機会を設けて欲しい（製造業） ● 他業界との意見交換会の場の設定（製造業）
	情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金や行政の支援策が新たに発表された際は連絡が欲しい（飲食業） ● 値上げが難しく、他社がどうしているのか実態を知りたい（建設業）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業承継に関して相談したい（製造業） ● 宣伝広告関係の相談をしたい（飲食業） ● 健康診断の回数を増やしてほしい（製造業） ● 業務効率化を計るため、不動産の斡旋をしてほしい（製造業） ● 融資の相談は大変助かっています（卸売・小売業） ● 会員になっていますがメリットを感じないため、退会を考えています（飲食業）
金融機関への要望		<ul style="list-style-type: none"> ● 減税、超低金利での融資（飲食業）
行政への要望		<ul style="list-style-type: none"> ● 家賃支援の復活を希望します（飲食業） ● 光熱費が高すぎるので何とかしてほしい（飲食業） ● 西川口は人流が減少してます。多くの店が知られるようPRしてほしい（飲食業） ● 西川口駅周辺を中心に、街全体の活性化を望みます（サービス業） ● 小中学校に他市の業者を入れず、市内の業者を使ってほしい（卸売・小売業） ● 賃上げに見合った人材を育てられる学校教育の充実を求めたい（製造業） ● 事務のパソコン作業が多すぎる。書類等を簡素にしてほしい（製造業）

参考資料 第35回（10-12月期）川口商工会議所リアルタイム景況調査アンケート用紙

川口商工会議所 中小企業支援課 総合政策係宛 (FAX 048-228-2221)

第35回（10-12月期）川口商工会議所リアルタイム景況調査へのご協力をお願い

令和6年1月15日

会員のみなさまへ（必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。）

日ごろより、本商工会議所の事業運営に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度「リアルタイム景況調査」を実施しております。このたび、第35回（10-12月期）調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、**1月31日（水）までに**、FAX またはアンケートフォーム（右 QR コード）にてご返信いただきますようお願いいたします。



皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。 川口商工会議所

アンケート調査票

問1 貴社の状況についてお伺いします。(1)～(5)についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

(1) 業種 *複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。

1 製造業	2 建設業	3 卸売・小売業	4 飲食業
5 サービス業	6 その他 ()		

(2) 業歴

1 5年未満	2 5～10年	3 11年～20年	4 21年～30年
5 31年～40年	6 41年～50年	7 51年～60年	8 61年～70年
9 71年～80年	10 81年～90年	11 91年～100年	12 101年以上

(3) 資本金

1 個人事業主	2 500万円以下	3 500万円超～1千万円以下
4 1千万円超～3千万円以下	5 3千万円超～5千万円以下	6 5千万円超～1億円以下
7 1億円超～	8 その他	

(4) 従業員（正社員）数（パート・アルバイトを除く）をご記入ください。

_____人

(5) 収益状況（直近の決算）

1 黒字	2 収支トントン	3 赤字
------	----------	------

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分に☑チェックをご記入ください。

*設問の「今期」は 令和5年10月～12月としてお答えください。

1 売上高	(1) 今期（7月～9月と比べ）	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
	(2) 今後の先行き見通し（1月～3月）	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
2 採算	(1) 今期（7月～9月と比べ）	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し（1月～3月）	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
3 仕入単価	(1) 今期（7月～9月と比べ）	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
	(2) 今後の先行き見通し（1月～3月）	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
4 従業員	(1) 今期（7月～9月と比べ）	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
	(2) 今後の先行き見通し（1月～3月）	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
5 業況	(1) 今期（7月～9月と比べ）	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し（1月～3月）	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
6 資金繰り	(1) 今期（7月～9月と比べ）	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し（1月～3月）	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化

問3-1 新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）による経営への影響について、選択肢から1つお選びください。

- 1：悪化の影響が続いている
2：今後（※）、悪化の影響が見込まれる } 問3-2へ (※「今後」とは、おおむね3か月以内を指します。
3：既に改善の影響がある 4：今後、改善の影響が見込まれる 5：特に影響はない 6：わからない

問3-2 問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。

悪化の影響による売上高の減少はありますか（または減少すると思われますか）。

- 1：コロナ前（2020年1月ごろ）と比較し「減少している」 選択肢から1つお選びください。
→（減少割合 ア：10%未満 イ：10～30% ウ：31～50% エ：51%以上）
2：特に変化はない 3：わからない

問4（改めて全ての方に、お伺いします）

近年、「人への投資」や「リスクリング」といった言葉をよく耳にするようになりました。これに関連して、以下「人材育成」についてお伺いします。（以下、従業員とは正社員およびパート、アルバイト、契約社員を指します。）

問4-1 貴社が従業員へ実施している研修・教育訓練について、選択肢からお選びください（複数該当する場合は全てお選びください）。

- 1：日常業務の中での教育（OJT） 2：外部主催の研修・セミナーの受講
3：業務に関連する資格の取得奨励 4：社内での集合研修の実施
5：従業員の自己啓発支援 6：国や自治体実施している公共職業訓練の受講
7：研修・教育訓練は実施していない 8：従業員がいない（役員のみ）
9：その他 ()

問4-2 問4-1で「選択肢7、8以外（1～6、9）」を選択された方に伺います

従業員の研修・教育訓練の実施に際しての課題について、選択肢からお選びください（複数該当する場合は全てお選びください）。

- 1：研修・教育訓練を行う時間的余裕がない 2：研修・教育訓練を担当する人材が不足している
3：研修・教育訓練の方針や計画が無く、体系的に行われていない
4：研修・教育訓練の対象となる社員の意識が低い 5：研修・教育訓練に要する資金が不足している
6：研修・教育訓練の効果が感じられない 7：管理職等の育成能力や指導意識が不足している
8：特に課題はない 9：その他 ()

問5 年度末に向けた貴社の資金繰りの状況について、当てはまるものを選択肢からお選びください（複数該当する場合は全てお選びください）。

- 1：メインバンク等の新規・追加融資や借換により、希望通りの条件で新たな資金を調達予定
2：メインバンク等から既往債務の同額での借換により、返済負担を軽減予定
3：日本政策金融公庫など政府系金融へ新規・追加融資を相談予定
4：ノンバンクからの借入を検討している 5：融資・条件変更を受けられる見込みがない
6：資金繰りが厳しく、廃業を検討している 7：資金繰りに不安はあるが、現時点では相談していない
8：資金繰りに不安はなく、現時点では相談していない 9：回答不能

上記選択肢4～7を選択された方で、商工会議所への相談を希望する方は下記10に○を付してください。

10：商工会議所への相談を希望する

問6 経営への寄与や影響（質上げ、原材料高騰等）、調査に関連する具体的な意見や事例をお寄せください。

問7 今後の経営において、行政や商工会議所へ望むことをお聞かせください。

川口商工会議所では、景況調査を年6回程度で予定しております。回答率50%以上の会員事業所様には年度末に謝礼のクオカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

以下の内容をご記入ください。（非公開内容となります。）

事業所名	
今後、希望するアンケートの受信方法	FAX ・ メール (いずれかに○をお願いいたします。)
メールアドレス(メールでご希望の場合)	

ご協力ありがとうございました。*回答いただいた内容につきましては、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。

問い合わせ：川口商工会議所 中小企業支援課 総合政策係 (TEL:048-228-2220)